

この子らと

令和7年10月号

命輝く子ども



わくわく鹿児島中央認定こども園

園長 川口公男

“10月12日わくわく運動会です”



上記の写真は、昨年度の運動会の様子です。一年後の今年の運動会では、どんな成長して姿を見せてくれるか、楽しみにして当日をお迎えください。

子どもたちは、お父さん、お母さん方に成長した自分をみてくださいと日々の練習に頑張っています。

「園長先生、我が子の成長した姿を見て涙があふれてきました。子どもは成長するのですね。先生方に感謝です。」という保護者のみなさまのお言葉をいただくことがたびたびあります。

全ての子どもたちは、必ず花を咲かせる『可能性』という小さな種子を無数にもっています。

西!田小学校への避難訓練です。



浸水、津波、地震、火災など園内にとどまることが危険だと判断した場合を想定して西田小学校への避難訓練を実施いたしました。

石巻市立の大川小学校では、大地震後の津波により、児童108名中74名、教員10名の尊い命を失いました。学校は、海から3.7km離れていて津波は到達しないと思われていました。

北上川の橋のたもとの高い場所を避難先として

避難をしていた子どもたち・先生方は、正面からきた津波に全員が飲み込まれてしまいました。



大川小学校では、町が避難を呼びかける中、校庭で50分間、避難先について話し合ったこと、結果、高い裏山でなく、小高い場所を選択したこと等が大惨事を生んだ要因と言われています。 (合掌)

高齢者の皆様との交流(年長)

年長ぞう組の子どもたちが高齢者施設「城西」を訪問交流しました。



高齢者のみなさまは、子どもたちの歌、ダンス等の一挙一動に感激の表情を浮かべておられました。未来に生きていく子どもたちへエールを贈っておられるようにも感じました。子どもたちへ感謝あふれるお言葉もいただきました。

しかし、**今回の交流について、職員とともに一考したことがありました。**

それは、マザーテレサの「この世の最大の不幸は、だけれども自分は必要とされていないと感ずること。」という言葉思い出したからです。

この言葉の意味を考えます時、高齢者の皆様との交流において、「子どもたちが高齢者の皆様に～してあげる」だけの交流でいいのかということに対する一考でした。

高齢者の皆様はまだ、必要とされる存在ですというメッセージを交流の中に込められたらという一考です。今後、「高齢者の皆様から知恵を貸していただいたり、昔の遊びを教えてもらったり、製作したりなどの活動」を交流の中に組み込めないか施設の方とも相談してみたいと思っています。